

2 上都賀地域

鹿沼市、日光市、西方町

(1) 地域の概要

県の北西部に位置する上都賀地域は、南部の平坦な水田地帯から、北部の山岳地帯に至る、広大で豊かな自然に恵まれた農業の盛んな地域です。

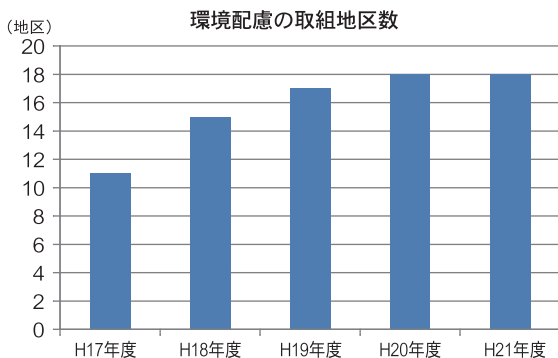
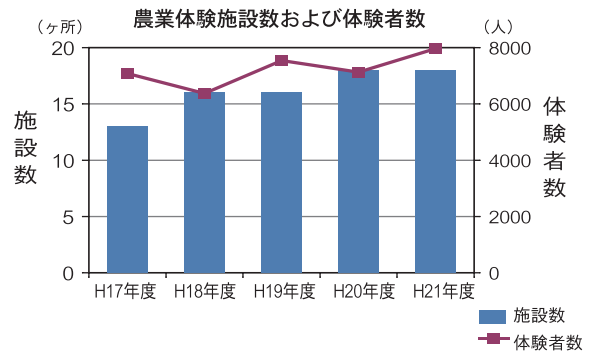
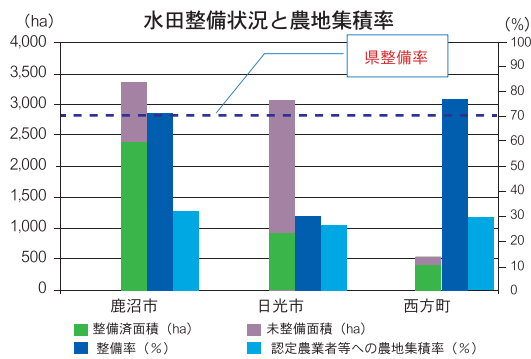
(2) 農業の特徴

平坦地帯の南部では、全国のトップクラスの産地であるにらをはじめ、いちご、トマトの生産が盛んです。平坦地帯の北部では水田が広がり、いちごやなす、にらの生産が拡大してきています。北部高冷地では、鶏頂山を中心としたほうれんそう等の大規模経営のほか、夏秋いちごが栽培されてきています。中山間地域では、そばやこんにゃくいもが生産され、特にそばは県内一の産地で、地元産のそば粉を使った農村レストランが数多く存在し、女性起業家が活躍しています。

(3) 農業農村の状況

ほ場整備が遅れているため、集落営農組織や認定農業者等の担い手の確保・育成及び面的集積が停滞しています。また、環境との調和に配慮したほ場整備や環境保全活動を実施していますが、生態系に配慮した更なる取組が期待されています。

一方、管内には日光を始めとした県内有数の観光地を抱え、多くの観光客が訪れているものの農村地域への人の流れが少ない状況です。



ほ場整備事業で整備された水田での農業体験
(下沢引田地区)

(4) 各地域の取組

■基本目標

効率的で安定的な水田経営に向け、ほ場の大区画化や地域農業の担い手育成と農村環境の保全・再生に向けた取組を推進します。

また、管内を訪れる多くの観光客に各地の農産物直売所での買物や農業体験を楽しんでもらい、地域住民により管理保全されている農村景観で心を癒してもらう仕組みづくりを支援します。

目標指標	基準年 平成21年度	目標年 平成27年度
○農振農用地内の水田整備面積	3,748ha	4,000ha
○生態系に配慮した圃場整備取組地区	18地区	23地区
○農業体験施設での利用者数	7,964人	9,000人

■重点取組

(1) ほ場整備により効率的な水田を整備し担い手への農地集積を推進します。

水田の整備が遅れている日光市の旧今市地域を中心に、ほ場整備を積極的に推進し、土地利用型農業の担い手育成・確保に取り組みます。

また、農地や労働力・農業機械等の経営資源の効率的な活用に向けて、担い手への農地利用集積、農地の面的集積を推進します。



整備後の大区画水田（沓掛地区）

(2) 生態系に配慮したほ場整備及び環境保全活動を推進します。

ほ場整備工事において、生き物観察会や生き物移動の実施、深み水路や魚道等を設置する等、生態系に配慮したほ場整備を推進します。

また、農村の豊かな自然環境の保全に向けて地域ぐるみでの共同作業活動等を支援します。



工事前に行われた生き物観察会（深津地区）

(3) 観光と連携し、地域資源を活用した農村体験を推進します。

観光地を訪れる多くの観光客に農業・農村の素晴らしさを楽しんでもらい、地域農産物の販売促進を図るために、体験農園、観光農園、オーナー農園等の取組を促進し、日光例幣使そば街道のPRと併せた情報発信の仕組みづくりを支援します。



美しい農村景観（入粟野地区のそば畑）